

ふくしま新ステージ 有識者懇談会 【第9回】

日時：令和2年10月20日 火曜日

午後1時30分～午後3時

場所：福島市役所 庁議室兼防災対策室

～ 目次 ～

- (1) 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 第8回有識者懇談会の振り返り・・・・・・・・ 4
- (3) 第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョン
「重点施策」及び「個別施策」の素案（案）・・・ 8

(1) 今後のスケジュール

令和2年度

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

総合計画Yu-Me(ゆめ)会議

役割

市の総合計画(施策などの表現や分かりやすさ)や自分たち(市民)ができることを考える

 第1回(5/15) テーマ あなたが思う「基本方針」に沿った具体的なまちづくり(施策)は可ですか？ 【中止】 	 第2回(6/7) テーマ 市の総合計画案(第一次素案)と一緒に考えよう(例)基本方針に沿った個別施策(3つの基本方針) 【中止】 	第1回(7/4) テーマ 市の総合計画と一緒に考えよう① (内容) 17施策程度/33施策中	第2回(8/10) テーマ 市の総合計画と一緒に考えよう② (内容) 16施策程度/33施策中	第3回(9/6) テーマ 市の総合計画案のまとめ (内容) まとめ
--	--	--	---	---

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、第1回、第2回は参加者の分散と開催時間の短縮、第3回は開催時間の短縮などを行い、「三密」を避けながら開催しました。

策定委員会

(3月～)

・将来構想を実現するために基本方針に沿って取り組む重点施策や分野ごとの個別施策の**素案の案**を作成

・懇談会の助言やゆめ会議の意見等を踏まえ、重点施策や分野ごとの個別施策の**素案の案**を作成

(11月中旬～)

・総合計画の**素案の決定**、パブコメ(意見公募)

(R3年1月)

・総合計画の**原案の決定**

(3月まで)

総合計画の決定
※議決

ふくしま新ステージ
有識者懇談会

役割

将来構想を実現するために基本方針に沿って**重点的に取り組む「重点施策」や「個別施策」**等を中心に**専門的な知見を活かした大所高所の幅広い視点からご意見等**をいただく

第6回(4/27)
議題
・重点施策、個別施策への助言等①
ほか
【書面開催】

第7回(7/28)
議題
・重点施策、個別施策への助言等②
ほか

第8回(8/26)
議題
・重点施策、個別施策への助言等③
ほか

第9回(10/20)
議題
・総合計画の**素案の確認**
ほか

【総合計画の素案】
◆将来構想
◆基本方針
◆重点施策
◆分野ごとの個別施策

(2) 第8回有識者懇談会の振り返り ～委員からの主な意見～

項目	主な意見
重点施策全体	<ul style="list-style-type: none">○一つの重点施策に対して、様々な角度から施策を講じるべきである。○重点施策に紐づく個別施策について、関係する施策は全て盛り込んだほうが良い。 新たな施策に取り組む際に、横の繋がり（部局横断）が生まれやすくなる。
(1) えがおあふれる 子ども・子育て の新ステージの 実現	<ul style="list-style-type: none">○少子化が課題であり、子育てに関する重点施策を一番に取り組み、安心して子育てができる環境を整えるべき。○子育てには「親」側の課題（ネグレクト等の虐待）もある。○保健師や保育士の担い手が少ない現状には、賃金等の課題もあり、ここを支援する施策が必要である。○少子高齢化や人口減少対策も大事だが、教育（親の教育や生涯学習を含む）も非常に重要である。重点施策に教育や学びの視点を明確に打ち出すべき。○生涯のライフステージに応じた（繋がった）施策があると良い。

(2) 第8回有識者懇談会の振り返り ～委員からの主な意見～

項目	主な意見
(6) 脱炭素社会の 実現と循環型 社会の構築	○「脱炭素社会」の視点からまちづくりに繋がるような重点施策になると良い。
(7) 「人」と「活力」で あふれる産業の グレードアップ	○福島と言えば「農業」である。重点施策に「農業」の視点を前面に打ち出すべき。

※重点施策の名称は、第8回有識者懇談会時に示した名称

(2) 第8回有識者懇談会の振り返り ～委員からの主な意見～

項目	主な意見
<p>(9) 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none">○首都圏に出た人がある時期に地方へ帰ろうと考えるタイミングがある。Uターン者に対する支援を充実させ、積極的に受け入れる（温かく迎える）体制を整備すべき。特に若い世代に帰ってきてもらい、家族を作ってほしい。○優秀な人材を福島市で育てても進学や就職で県外（首都圏等）に流出する問題がある。将来的に福島市に循環する、福島市に資する人材になってもらえるような工夫が必要である。○生涯のライフステージに応じた（繋がった）施策があると良い。（再掲）
<p>(10) 市民との共創による新しいまちづくりの実現</p>	<ul style="list-style-type: none">○「共創」についての理解が深められるような説明があると良い。

※重点施策の名称は、第8回有識者懇談会時に示した名称

(2) 第8回有識者懇談会の振り返り ～委員からの主な意見～

項目	主な意見
(12) ICTを活用した先進的市民サービスの充実	○ポストコロナを想定した場合、ICTは非常に伸びしろがある分野である。

※重点施策の名称は、第8回有識者懇談会時に示した名称

(3) 「重点施策」及び「個別施策」の素案（案）

【別添資料】

第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョン 「重点施策」及び「個別施策」の素案（案）

「体系図」	資料1
まちづくり基本ビジョン 素案（案）	資料2
「個別施策 項目一覧」	資料3